



はやし 幹

林もとひとと県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

成田空港周辺地域の活性化策

成田市特集



予算委員会で一般質疑を行う林幹人県議

2月県議会

予算委員会

世界に開かれた国際空港都市への基盤固めを目指す成田市から選出され、一期目ながら県政界のホープと目される林幹人（はやし・もとひと）県議は、十二月県議会の一般質問に続いて、二月県議会では予算委員会の一般質疑に登場し、空港周辺地域の活性化策について、積極的な政策提言を行いました。

この中で林県議は、世界的に経済状況が悪化している今こそ、国際空港を有する強みを最大限に生かして観光施策を推進する絶好のチャンスと位置づけ、トランジット客の誘致などに前向きな提案をしました。林県議の質疑を1、2面で特集します。

トランジット客の観光誘致に力を

外客誘致フェアは今年も実施

林委員 成田空港のトランジット客を対象として、これまでどのような観光施策を講じてきたのか。

観光課長 平成十九年度に成田国際空港を利用したトランジット客は、約三百万人です。県はこれまで、国等と連携しトランジット客を対象としたアンケート調査やモニターツアーの実施、モデルルートの設定や多様な交通手段の

確保、案内表示の充実などに努めてきました。

また、トランジット客を多く受け入れるためには、出発地における観光情報の提供も重要だと考えており、主として台湾、韓国、中国で①現地の国際観光展への出展②メディア関係者の招請事業の実施③日本政府観光局、いわゆるJNTOや日本観光協会などの現地事務所での観光パンフレットを置いていただいています。これらの事業を通じて、本県観光のPRをしています。

林委員 トランジット客の滞在時間の実態はどうか。

観光課長 トランジット客の多くは、当日の乗り継ぎ客であり、乗り継ぎ滞在時間は短いものとなっています。トランジット客の大半は、五時間未満と聞いています。宿泊を伴う乗り継ぎ客は、年間約十万人と聞いています。

県としては、空港周辺の観光案内や交通網の整備・充実など、関係機関と連携しながらトランジット客に寄つただけのような取り組みを行っています。

林委員 「成田国際空港周辺外客誘致フェア」の概要とその成果、今後の予定はどうか。

観光課長 昨年十月と十一

月の二カ月間、韓国、中国、台湾の東アジア三地域の旅行会社とタイアップし、北総地域の祭りやイベントを組み入れた観光コースを設定し、三千人を目標に外国人観光客の誘致を図ってきました。その結果、百十九本のツアーが実施され、目標を達成する三千百三十七人の外国人観光客の来訪がありました。その内訳は、韓国から五百六十人、中国から千七百人、台湾から八百人のお客様をお迎えしました。

特に、成田山新勝寺、房総のむら、イオン成田等の人気が高かったと聞いています。今年度もさらに工夫して外客誘致フェアを実施していきたいと考えています。

林もとひとと県議・プロフィール

○略歴○

昭和48年 9月 銚子市に生まれる
平成4年 3月 銚子市立銚子高校卒業
平成8年 3月 玉川大学文学部卒業
5月 米国ロードアイランド州語学留学
平成10年 4月 空港グランドサービス入社
平成12年 4月 衆院議員・山崎拓秘書
平成15年 4月 衆院議員・林幹雄秘書（成田市担当）
平成19年 4月 千葉県議会議員初当選

○現職○

- 県議会 商工労働企業常任委員会委員
- 千葉県 国土利用計画地方審議会委員

県政に新風 市民の声を生かします

●県政や成田市のご相談・ご要望はお気軽にどうぞ

〒286-0134

成田市東和田569 なるげや陶器ビル1階F号

林もとひと 県議事務所

TEL 0476-20-0884

FAX 0476-20-0885

Eメール: motohito884@gmail.com

首都圏に近い優位性で誘客

観光立県に積極的な提案

林県議の提案

トランジットで二時的に訪れるお客様が、年間三百万人いるということですので、月平均にすると二十五万人以上です。そうすると、キヤンペーン期間中の十、十一月の二カ月間で少なくとも五十万人のトランジット客がいた中で、目標設定が三千人というのは低い感じがします。目標達成したとのことだが、満足することなく、地元の方や空港勤務の方々にお話を聞くと、トランジット客には十分な情報周知ができていないという課題を聞きます。

私の経験でも、トランジットといつても空港を離れて観光しようという気にはなれず、不安で次の飛行機はいつかと、遅れては大変だという気持ちが先に立ってしまします。ましてや言葉の通じない異国の地ですから。

ここは、例えば、五時間以内がほとんどだという客弁でしたが、五時間あればその時間を使っていきたい

Rを行っていくのか。

観光課長 観光客の誘致には、PRが重要であり、本県が(1)花と海、食、温泉、祭り、スポーツ、農林漁業体験など多様な魅力に満ちた観光県であること(2)首都圏にあつて、気軽に・短時間で・安価にアクセスできること、などの強みを中心

林委員 さらに誘客を図るためにPRの強化が必要と考えるが、どのようにPRしていくか、どのよう

多くの人々が手軽に利用しているインターネットによる情報発信に重点的に取り組んでいきたいと考えています。引き続き観光キャンペーンを実施していきますが、その際には、特に(1)ポスターやガイドブックによる周知(2)ホームページや県広報媒体による情報発信(3)県内外での駅頭PRや地方テレビ局への出演など、効果的に展開し、PRの強化を図っていきと考えています。



交通網整備へ台北新幹線を視察(桃園駅)

外国人旅行客は17%減少

景気が悪くなる、と。とかく旅行者の財布の紐は固くなります。どこへ行くかという選定の目も厳しくなります。厳しい状況だからこそ、ムダを省いた費用対効果の高い取り組みを進めていく絶好のチャンスだと思っています。そういう意味で、成田国際空港を有する強みを最大限生かしながら、長期的視野に立つて積極的に観光施策を進めていきたいと思います。

林委員 経済状況が悪化する中で、本県観光に対する現状認識についてお伺いしたい。

観光庁が最近発表した昨年十二月の速報によると、前年同月比で外国人旅行客が17・3%減、国内旅行客が3・0%減となっています。

特に、外国人旅行は四月連続で減少し、世界的な経済状況の悪化が影響を及ぼしている

推測されま

林県議が質問した
予算委員会の全景



本県の優位性を生かし、関係者と連携しながら努力したいと考えています。

「オール千葉県」で観光振興

林委員 ちばデスティネーションキャンペーン以降の観光キャンペーンの取り組み状況とその成果はどうか。

観光課長 平成十九年二月のちばデスティネーションキャンペーンの実施以降、引き続き観光入込客数の増加と本県の知名度アップを図るため、早春・夏・秋の時期にこれまでに七回にわたる切れ目ない観光キャンペーンを実施しています。

ちばデスティネーションキャンペーンにより、「オール千葉

千葉県」での取り組みの有効性が確認されたため、新たに全県的なプロモーション組織が立ち上げられ、「オール千葉県」による観光振興の体制がさらに強化されたところ

また、地域においても積極的に観光客を呼び込もうとする機運が醸成され、例えば「久留里の名水」などの地域資源の掘り起こし、「南房総地域観光圏」などの広域的連携が行われるようになって

2月県議会 予算委員会
若さと情熱で
県政にチャレンジ
はやし
林もとひと
県議